

公約を堅持

下記項目が実現しました

- ① ミニかこバス平岡東地域で今秋から。デマンドタクシーの実証実験始まる
- ② 小・中学校・幼稚園にエアコン設置
- ③ 中学校給食実現

平岡、平岡北、他4校、9月実施



日岡山に完成した給食センター



岡田市長（右端）に要望書を手渡す議員団

児童保育所や公設市場等を訪問し直接要望を聞くとともに、市民から寄せられた声を要望書にまとめ、3回にわたり市長に提出。5月の臨時市議会で、財政調整基金の活用で思い切った緊急対策を求めました。

積立金を活用しコロナ対策を

JR東加古川・土山駅、山電の尾上の松・浜の宮・別府駅で、毎月定例の宣伝。議会の内容を定期的に報告。また現在の政治の問題点を日本共産党の政策とともに訴えています。

街頭で訴え



住民の要望実現に走る



寄せられた住民の要求を大切に、後援会と協力し現地を調査、市へ申し入れ（写真右端が立花議員 2018.8.1）

「生活と環境を考える会」発足



神鋼の高炉

加古川市民にとって神鋼のばいじんは大きな問題です。科学者の協力を得て独自のばいじん調査を開始、「生活と環境を考える会」準備会を発足させました。

神鋼のばいじん調査

なんでも無料法律相談

弁護士・生活と健康を守る会の協力で一昨年の10月から毎月開催しています。これまでに50件を超える相談が寄せられました。

毎月第3火曜日、場所：県庁舎「かこむ」

議員活動2年



立花俊治

加古川市議会議員
建設経済常任委員

市議会に送っていただいた2年、皆さんの声を議会に届け、3つの公約実現に全力で取り組んできました。国民健康保険料1世帯1万円引き下げは、実現していませんが、かこバス・デマンドタクシーの拡充、全校にエアコン設置・中学校給食（9月実施）が実現しました。消費税の増税、さらにコロナウイルスが生活を直撃しています。命とくらしを守るために議会の果たす役割は大きなものがあります。3名の日本共産党議員団は、力を合わせ「もっとみんなが住みよい加古川」をめざします。地域の声をお寄せください、ご支援よろしく申し上げます。

憲法9条をまもる



4年前から始まった、毎月19日の加古川駅前集会は50回を超えています。右から2人目が立花議員。

もっと、みんなが住みよい加古川市を！